

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	17	124660	防犯推進事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-4	日常生活の安全確保			
	施策	2	防犯活動の推進			
目的	防犯活動の推進					
対象	市民					
意図	市民の防犯意識を高めることにより、犯罪被害が減少する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 防犯協会の活動支援 安全・安心まちづくり大会の開催 防犯パトロール 各種啓発活動 防犯教室の開催 情報提供等の事業実施 <input type="checkbox"/> 空港周辺地下道防犯対策 空港周辺地下道緊急通報装置の管理						
市民参画の有無 [無し]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		事業協力・協定		
		<input type="checkbox"/> 補助・助成		委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	地域安全大会への参加者数	人	計画	300	300	
			実績	206	185	
②	防犯隊延べ活動人数	人	計画	500	500	
			実績	409	647	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	防犯を意識した行動をとっている市民の割合[まちづくり市民アンケート結果]	%	目標	90.0	90.0	
			実績	87.2	85.0	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="checkbox"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
市民が犯罪を意識した行動をとることにより、犯罪被害が減少する。ただし、市内の治安が比較的良いことから、大部分の市民は鍵かけの徹底など防犯意識が高いものの、郊外や高齢者世帯においては意識が低いものと考えられる。目標値は過去の実績を参考に設定した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	関係機関と連携し、市民が一体となって防犯意識の高揚や暴力団追放意識の高揚を図り、犯罪や非行のない安全で安心な地域づくりを行っている団体である。
	<input type="checkbox"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	団体の活動を活性化させることにより成果の向上が期待できる。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	防犯活動を包含して実施している団体への補助のみである。補助金交付の事務的な経費のみ。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	全市民に対する啓発であり、公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
市民の防犯意識高揚のため、広報パトロール活動の強化、エフエムワン等を活用した安全情報の提供を行い、広く市民に意識啓発を図る。		

平成 28 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	02	01	17	124660	防犯推進事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		5,073	5,147		74
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	5,073	5,147		74

事業期間 ○ 単年度繰返 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部重点施策における目標

安心・安全な日常生活を送っています。

事業開始の背景・経緯

犯罪や非行のない明るく安全で住みよい地域社会を実現するため、市民の防犯意識を高める。

事業概要

○防犯協会の活動支援
 安全・安心まちづくり大会の開催
 防犯パトロール
 各種啓発活動
 防犯教室の開催
 情報提供等の事業実施

○空港周辺地下道防犯対策
 空港周辺地下道緊急通報装置の管理

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

より積極的な活動を望む声がある。

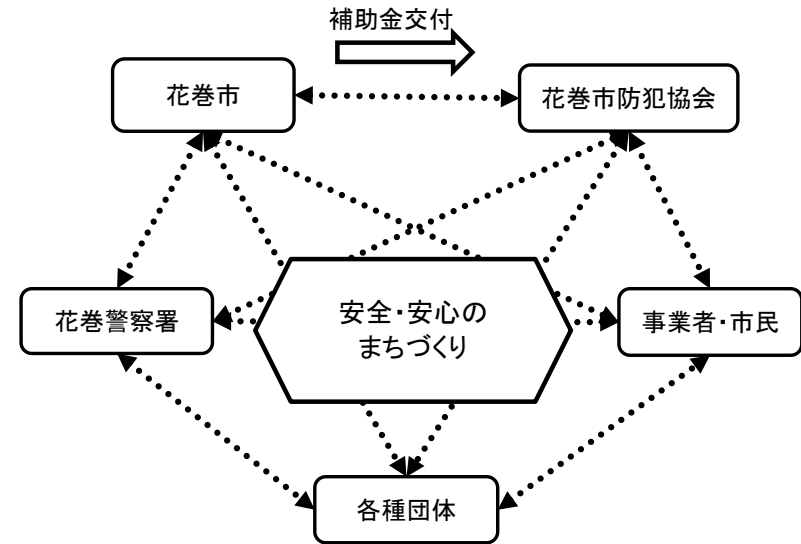
担当部署 部名 市民生活 課名 市民生活総合相談センター 担当係長 姉帯 工 内線 254 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○防犯協会への支援

防犯協会補助金交付 5,000千円

安全・安心まちづくり大会の開催、防犯パトロール、各種啓発活動、防犯教室の開催、
 情報提供等の事業実施への補助支援



○通信運搬費

空港周辺地下道緊急通報装置通信費 73千円
 非常時には、自動的に県警本部、花巻警察署、花巻市役所（守衛）に通報される。

○修繕費

空港周辺地下道緊急通報装置修繕費 74千円